

7/17/374

■70歳以上で1割と3割ではどれくらいの差になるか

高齢者の疾病	1割負担	3割負担
「関節症(膝の痛みなど)」で外来受診している場合 ※関節症患者の外来受診の平均的な診療間隔8日をもとに計算	2800円/月	8400円/月
「高血圧性疾患」で外来受診している場合 ※高血圧性疾患の外来受診の平均的な診療間隔17日をもとに計算	2600円/月	7800円/月
「脳血管疾患」で外来受診している場合 ※脳血管疾患患者の外来受診の平均的な診療間隔14日をもとに計算	4500円/月	1万3500円/月

(全国保険医団体連合会資料から作成)

マイナ保険証受診不具合

高齢者窓口3割負担も

1面のつづき

70歳以上の人も問題が残ります。生年月日で一部負担の割合が確定できず、所得に応じて1〜3割と負担の割合が異なるからです。厚労省は「申立書」で患者に負担割合を申告させるとしています。

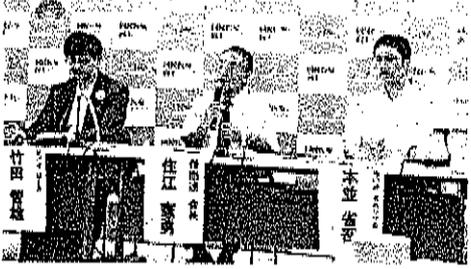
しかし全国保険医団体連合会の本並省事務局長は、「患者の申告通り例えば1割徴収した後日、所得状況を確認すると2割だった場合、不足が発生します。患者が負

担割合は「分からない」と記載すると、3割徴収になるざるを得ないでしよう」と指摘します。

こうなると本来は1割負担の人が3割負担になる可能性もあります。東京都北区の田那辺孝子さんの84は3年前に脳梗塞で倒れ後遺症が残りました。心不全も発症し、常に感苦しさがあります。

4カ所に通院

大学病院など四つの医療機関に通院。医療費は1割負担でも平均すると月1万円程度かかっています。通院のタクシー代に月約5000円必要です。テイスサービスや訪問介護など介護保険の利用



保険証の廃止中止を求める保団連の住江健男会長(中央)と本並省事務局長(右)11日、都内

「少ない年金払えない」

の不具合は政府の責任なのに患者が3倍とられるなんて、お門違いにも程がある」と訴えます。田那辺さんは続けます。

「年を取り病気になるものかと驚きます。5年ごとにマイナ保険証を更新するなんて無理。保険証は申請しなくても郵送されたのになぜ廃止するの？ 廃止は絶対やめてほしい。病気の高齢者をいじめて懐に手を突っ込むようなやり方は許せない」と憤ります。

他にも、患者負担が一定の上限額まで達した場合にそれ以上支払わなくても済む高額療養費制度や、難病患者に所得によって負担上限が定められている医療費助成も、厚労省が示す、いまの是正策では使えなくなる可能性

「廃止撤回を」

保団連の試算では、保険証が廃止されればマイナ保険証で「無効該当資格なし」と表示されるトランプルは少なくとも72万件に上るとしています。保団連の本並事務局長は「政府は、『10割負担を3割に下げるのだから我慢しろ』と言わんばかりで愛わらぬ大きな負担を国民に強いています。

一方で厚労省は、「マイナンバーカードと合わせて保険証を持参していたきたい」と言いたし、是正策で問題が解決できないことを自ら認めています。健康保険証は国民皆保険制度に欠かせないものだと明らかにしました。保険証の廃止は撤回すべきです。」